



『戦後初期コア・カリキュラム研究資料集』を読む

▼金馬国晴・安井一郎編集・解題『戦後初期コア・カリキュラム研究資料集』(全三巻)9・30刊、B5判約2000頁・本体9000円・クロソカルチャー出版

『福島県立総合教育センター』が刊行された。第一回配本は「東日本編」(全三巻)である。

戦後初期の一九四八年から五〇年代前半にかけて、全国各地の主に小学校で実践された総合的なカリキュラムのことである。『戦後初期コア・カリキュラム研究資料集』には、コア・カリキュラムの研究紀要のほか数多くの冊子類が収録されている。いまも全国各地に一冊しか発見できない貴重な資料も多数含まれている。現代史研究において不可欠でありながら、これまで長らく埋もれ、また散逸していった基礎資料が編者によって収集され、ここにまとめられた。その労苦に敬意を表したい。

コア・カリキュラムは、憲法も旧教育基本法などと同じく占領軍によって押しつけられたものだと主張する向きがある。たしかにコア・カリキュラムはアメリカ由来のものだが、占領下で日本の教師たちがつくられたものではない。それは本書を読めば一目瞭然である。一口にコア・カリキュラムといっても、その展開は多種多様で、現場の教師たちは戦後の焼跡や窮乏のなかで苦闘しながら子どもたちの生活や暮らしの現実をコアに据えて自主的に教育のカリキュラムをつくっていたのである。

本誌一〇月六日号には、自主的に創られた戦後新教育の貴重な実践の記録として、編者の金馬国晴氏と安井一郎氏の対談が掲載されている。そこで安井氏は、奈良師範学校女子部附属小学校の奈良吉城三郎を例に、コア・カリキュラムの独自性を説明した。そこから見えてくるのは、プランを実践した教師たちが、戦前の天皇中心の国家主義的な教育体制の制限のなかでも、もがきながら、自主主義的な教育活動を展開していた大正自由教育の洗礼を受けていたこと、そして戦後にアメリカのリーダーシップを経験した教育が始まるなか、戦前の自由教育の伝統を新たに創造していったことである。各地で実践されたコア・カリキュラムには、戦争の影響を受けながらも、教師と子どもが居住地域で新しい学校をつくる、生活の場をつくる、といった経緯が窺われる。

それらのコア・カリキュラムには、それが生み出された実践された場所の地域性が刻み込まれている。金馬氏はこの対談のなかで、東京都墨田区の兼平小学校を例に挙げた。現在のスカイツリーのお膝元に位置するこの地域は、当時もいまも町工場が集まる下町である。戦中は東京大空襲で焼け野原となし、一帯は灰燼に帰した。戦後初期はまた戦争の深刻な傷跡を引きずり、校舎もむすびに定時制の小さな二部授業をしいたという。本書に収められた兼平小のコア・カリキュラムからは、こうした地域性が浮かび上がっている。そして、貧乏な

とが、それを本書で知ってほしいと安井氏はいう。理由は本書のなかにある。一九四七年に戦後最初の学習指導要領が出され、戦後新教育の理念が高らかに掲げられた。新しい時代になり、自分たちの力で子どもを生活を見守り、外からではなく自分たちの力でカリキュラムをつくっていかなくては考え方がそこには込められた。本書を見れば明らかだが、コア・カリキュラムとは、その実践に他ならないのである。

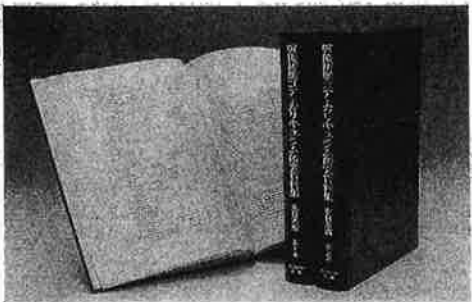
コア・カリキュラムは、今日の総合学習、今日の総合的な学習に相当する内容をもつ。国語科、社会科といった個別の教科の枠に収まらず、日々の生活のなかで生ずる問題を解決していかなくてはならないという学習のリアリティーがある。だが、近年の学習指導要領では重視される総合学習の場は、一方で、現場で混乱をきたしている。教師が自由にまわらなかつた。つまり、総合的な学習をこなす上での創意工夫に十分対応できず、国や教育委員会からの指導に頼らざるを得ないという問題があるのだ。

まことに残念なことが、これまで二方面では価値的・数値的に伸びてきたにもかかわらず、学力が要求され、他方ではゆとりや自由、自主性が掲げられてきた。二見両面に見えるけれど、二つは、実は襲撃の関係ではなかつたのか。私たちが今日、戦後初期のコア・カリキュラムをどうとらえるべきか。現場の教師たちが当時、悪条件のなかであつても、生活の経験をもつて総合的な学習を実践していったのを知ることが、つまり、自由で自立の意味を改めて問う意味が、本書にはあるのだ。

そして重要なのは、教師たちが互いに議論し、協同しながらコア・カリキュラムをすすめていった過程である。本書には、子どもたちが、そして教師たちが求めて形にしていた自由で自立と協同の姿が幾重にも詰まっています。

その意味でも、今日の私たちの教育課題に資する内容がこびりついている。ぜひとも一読をお願ひいたします。

(現代史研究)



地域のなかで新しい教育を実践し、自由と自主性を大切にした  
コア・カリキュラムの貴重な資料集

子どもたち、教師たちが求めて形にしていた自立と協同の姿が幾重にも詰まった記録

三輪智博